

平成25年度定時総会と講演「現在のジャポニズム」

総会

総会の出席会員数は36名、委任状提出者は96名でした。佐野会長を議長に指名し、事前に開催された理事会において承認を得た「平成25年度総会議案書」に基づいて審議が行われました。議案第1号「平成24年度事業報告」、議案第2号「平成24年度決算報告及び監査報告」、議案第3号「平成25年度事業計画及び収支予算（案）」以上の報告と説明の後、各議案について議長が出席者に諮ったところ、総ての議案とも異議なく可決、承認されました。議案第4号「役員を選任について」は理事14名及び監事1名のすべての役員が定時総会終結と同時に任期満了となりその改選が必要となることから、平成25年度からの新役員としては（1）新たに就任した理事3名（2）重任の理事11名（3）重任の監事1名（4）退任した理事3名について役員の可否を諮ったところ満場異議なく可決され、被選任者は席上その就任を承諾しました。総会は山崎副会長の閉会挨拶をもって終了しました。

講演「現在のジャポニズム」講師：イザベル・デスペール・奥村先生

講演はイザベル先生がフランス語で一区切りごとに話をし、続いてその日本語訳を逐次読み上げるやり方で行いました。講演はフランスにおける日本文化の影響力についてのテーマで、19世紀の後半の「ジャポニズム」は、西洋のアートの世界に明白な影響を与えはしたものの、その影響は耽美派や知識人の少数者に限られました。一方21世紀のジャポニズムは、多くの分野を横断して現れ、広範で多様な人々の心をとらえました。日本の作品が伝える「他者への敬意」「規律」「集団精神」、アニメや漫画に描かれる「人間と自然との共生」など、それは西洋の価値観とは異なる価値を伝えることで、フランス人に新しい生き方や、考え方について熟考する機会を与えたと思われると講演を締めくくられました。